資料番号

地域2

令和3年7月19日

課名地域政策局中山間地域振興課

担当者 課長 藤谷

内線 2631



オンラインを活用した 「ひろしま さとやま未来博2021」 の開催について

1 要旨・目的

中山間地域の地域づくり活動に関心のある人材の裾野を広げることを目的として、本年9月から12月までの間、「ひろしま さとやま未来博2021」を開催する。

当該未来博においては、オンラインを有効に活用した多様なプログラムを造成し、特設サイトに掲載した上で、各種広報媒体等を通じて県民等の参加を促していく。

2 現状・背景

中山間地域の集落は小規模化や高齢化が大きく進み,地域活動の担い手が不足する中, コミュニティでの共同作業や伝統行事等の活動が困難な集落が増加してきている。

こうした中、コミュニティビジネスのみならず、地域の抱える課題解決に関心のある人の「ひろしま里山・チーム $\frac{5}{0}$ 0」への登録を促進し、将来において地域の推進役となるリーダーを育成・確保していくことが求められている。

3 概要

(1) 対象者

中山間地域の地域づくりに関心のある 県内外の次の人材

①「関心層」:

これまで広島県の中山間地域での 様々な地域活動には参画したことは ないが、関心はある人 →参画層に

②「参画層」:

既に地域活動に参画しているが チーム500には登録していない人 → 登録者に

 チーム500登録者
 コアリーダー
(キーパーソン)

 登録
 プーダー層

 定期参画層
 ターゲット層

 本定期参画層
 無関心層

(2) 事業内容(実施内容)

時 期	内 容		詳細		
8月上旬~	特設サイト開設		未来博の周知, コンテンツの掲載		
8月19日 (木)	記者会見(事前告知イベント)		知事が出席し、ゲストとともに未来博の概要等発表		
9月5日(日)	オープニングイベント		知事が出席し、開会宣言やゲストとの座談会等を実施(オンライン開催)		
9月~12月	期間中プログラム		オンラインを活用した参加型プログラムを提供		
		リーディングプロジェクト	県民向けに中山間地域に関心を持ってもらう体験 プログラム等を実施		
		里山ココロザシ・カフェ	知事が出席し,実践者との対談や参加者によるワ ールドカフェをオンラインで期間中3回開催		
		さとやま GOOD プロジェクト	関心層向けに地域づくり活動実践者が企画・実施 する体験プログラムを期間中 40 件以上開催		
12月19日 (日)	クロージングイベント		知事が出席し、参画者等と未来博を振り返る (オンライン開催)		
		里山グッドアワード	知事が出席し、里山にあるものを活かして新しい 値の創造につなげている優れた取組を表彰		
終了後	特設サ小発信		アーカイブ化したプログラムを一定期間発信		

(3) スケジュール

	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月
プログラム		◆ 特設サイト開設 19 ■ 記者会見	5	プロジェクト		19 クロージング 19 アワード表彰
広報	■ 常任委報告 プレスリリース ガイト	常任委報告 プレス プレスリリース プリンク配布 SNS 広告	▮ 県民 TV	↓ プレスリリース ↓ 県民だより	■ 常任委報告 プレスリリース	常任委報告プレスリリース

(4) 予算(単県)

34,600 千円

4 その他 (関連情報等)

(1) 愛称 さとやま Social GOOD

広島県の中山間地域を「さとやま」と表現し、多くの実践者によって展開されている社会的な活動(ソーシャル)が、さとやまにGOOD(新たな価値や魅力など)を生み出していく博覧会であることを表現。「さとやまグッド」として定着することを想定

(2) ロゴ



自然・人の暮らし・文化・活動など、地域の課題や地域に密着した関わり方、つながりのあるソーシャルな世界観を「木」で表現。 GOOD の "G"を葉っぱに見立て、「育っていく里山の未来の木」をシンボルロゴ化した。

(3) ステイトメント

さとやまに未来を育てよう。

豊かな自然と人がつながる里山には、 先人たちが培ってきた魅力的な暮らしや、 生活を豊かにする知恵があふれています。 すでに里山で芽吹いている GOOD や、 これから芽吹いていく新しい GOOD を 大切に未来へつないでいくために、 私たちにできることがあります。 資源や歴史を後世にいかしていくこと、 今の時代だからこそ、創造できること、 人と人とのいい関係をつむいでいくこと。

里山にもっと笑顔があふれるように、 さあ、みんなで一緒に始めよう。 「さとやま Social GOOD」 未来博のコンセプトをシンプルでやさしい言葉で表現することで,より多くの人たちに理解と共感を得るために設定